山形広域

本社編集局　023(622)5385
天童支社　023(653)2230
上山支社　023(672)5821

地域の情報をお寄せください

みんなの題字

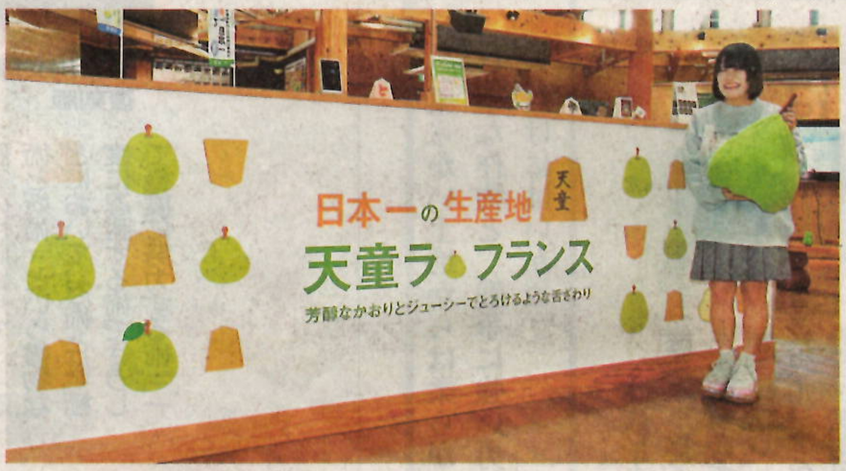
作者ひと言

中山中1年　秋葉柑奈（あきばかんな）さん

「山も川も雄大でのんびりした山形県の風土が大好きです。この題字は、自宅から見える大きな山々を思い浮かべながら書きました」

東北芸工大・船越さんデザイン　もり～なに看板

天童のラ・フランス 知って


天童
日本一の生産地
天童ラ・フランス
芳醇なかおりとジューシーでとろけるような舌ざわり

もり～な天童に設置されたラ・フランスのＰＲ看板と、デザインを考案した船越真樹子さん　＝天童市

天童市は、生産量日本一を誇るラ・フランスをアピールしようと、同市の道の駅天童温泉にある市森林情報館もり～な天童にPR看板を設置した。

看板は、館内の休憩エリアや飲食エリアを利用する人たちから目に留まりやすいように、観光案内コーナーをコの字に取り囲む形で設置。横長の3面（高さ1・1㍍、横幅が東面3・8㍍、中央1・2㍍、西面4・4㍍）で構成した。

デザインを手がけたのは東北芸術工科大（山形市）グラフィックデザイン科3年の船越真樹子さん(21)。一般公募で寄せられた23点の中から、選考会と一般投票を経て選ばれた。一般投票は市役所ともり～な天童に投票箱を設置して実施された。

船越さんの作品は、天童市がいずれも生産量日本一を誇るラ・フランスと将棋駒を取り入れ、シンプルながらも、かわいらしい作品に仕上げた。仙台市出身でラ・フランスにはなじみが薄かったという船越さんだが、大学の友だちからのお裾分けなどもあり、大好物になったという。

船越さんは「ラ・フランスは一つ一つ大きさや形を変え、ずんぐりむっくりとした独特の形をアピールできるように表現した。作品を通し、ラ・フランスに興味を持ってくれる人が増えたらうれしい」と笑顔を見せていた。

（落合慶）

ボール運動に夢中

山形・子どもたちが

「バルシューレ」体験

さまざまな運動能力を育むボール運動プログラム「バルシューレ」の体験会が17日、山形市北町2丁目のアバンツァーレ山形練習場で開かれ、子どもたちが夢中でボールに触れた＝**写真**。

同プログラムはドイツの大学教授が子どもの発達段階に合わせて考案。サッカースクール運営の「アバンツァーレジュニアサッカークラブ」はスポーツ振興などを目的に、同市内に来月、バルシューレスクールを開設する。

この日は幼児と小学生約10人が参加。同クラブコーチで「バルシューレジャパン」公認ライセンスを持つ志田樹貴（いつき）さんらが指導した。子どもたちは小さな三角コーンでボールをキャッチしたり、籠に大小さまざまなボールを投げ入れたりと多彩なメニューを体験。何度も挑戦し、成功すると笑顔を見せた。つくも保育園年長児の佐藤琉生（るい）君(6)は「いろんなボールを投げるのが面白かった」と話した。

（柴崎愛）

能登地震復興へ　天童で募金活動

ボーイスカウトとJC

日本ボーイスカウト県連盟天童第1団（相沢俊一団委員長）と天童青年会議所

洗心庵写真コンテスト　最優秀賞決まる

一般　羽田さん（山形）、U―18　横山さん（日大山形高）

県緑町庭園文化学習施設「洗心庵」（山形市緑町1丁目）の春夏秋冬をテーマにした第10回写真コンテストの入賞者が決まった。最優秀賞に一般の部で羽田茂穂さん(58)＝山形市小白川町1丁目、U―18(18歳以下)の部では日大山形高2年の横山彩乃さん(17)の作品がそれぞれ選ばれた。